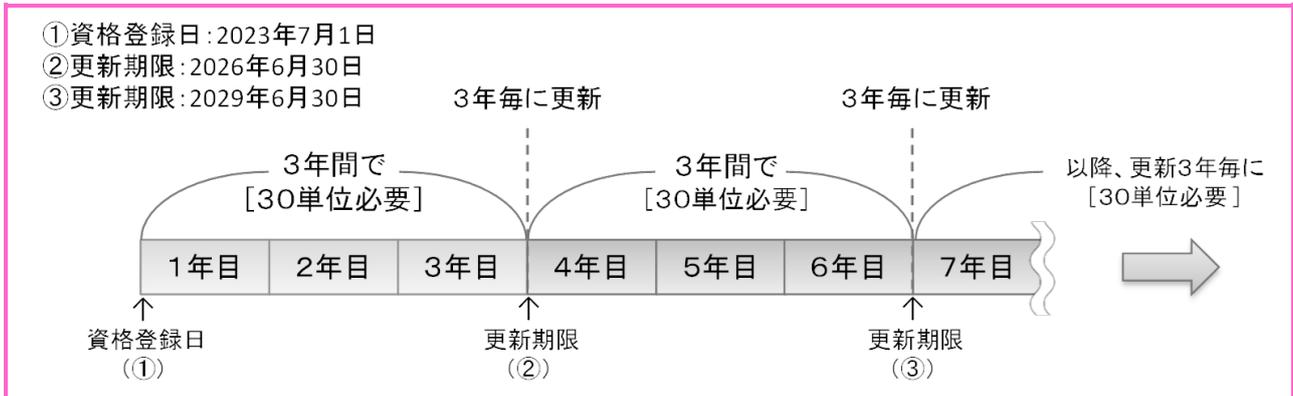


— . — . — . — CPD 単位を取得しましょう — . — . — . —

資格登録者として適切なアドバイスや指導を行うためには、知識、技術レベルが低下しないように継続的な研鑽が必要となります。資格の更新には3年間に継続研鑽（CPD）の単位を30単位以上取得する必要がありますので、計画的にCPD単位を取得していきましょう。

単位の取得には様々なプログラムが用意されています。（詳細は裏面参照）

資格の維持と更新のタイミング



単位取得のアドバイス

有効期限の直前に30単位以上を取得するのは容易ではありません。年間10単位程度を目安に取得していくことをおすすめします。☺

年間（年度）10単位程度の取得例

例1	単位
土づくり推進シンポジウムへの参加（4時間）	4
機関誌「作物生産と土づくり」の購読  コレもおすすめ！	6
計	10

※「作物生産と土づくり」は、土壤協会へ申込か、土壤医の会に入会することで購読できます。

例2	単位
ウェブサイトで提示される演習問題（択一問題）	4
ウェブサイトで提示される演習問題（土壤診断事例）	8
計	12

※演習問題の単位数（12）は、正答率などの条件を達成している場合です。

例3	単位
土壤医の会等が主催するweb講演会（2時間）	2
ウェブサイトで提示される演習問題（択一問題）	4
土づくり関係図書・報告文の読後感想レポート（2件）	4
計	10

※感想レポートは土壤医ネットワークから提出（申請）が必要です。

年間10単位ずつなら無理なく達成できそうですね。例2と例3では、外出をしなくても単位を取得することができますよ！



おすすめ！webサイト演習問題

全20問

問1. 我が国の水田、普通畑および果樹園の圃場において、共通して養分不足の傾向にあるものはどれか。次の中から正しいものを一つ選びなさい。 

① 交換性マグネシウム

② 有効態リン酸

③ 交換性カルシウム

④ 交換性カリウム

問2. 作物の生育、水分恒数およびpF値の関係に関する記述の中で、正しいものはどれか。次の中から一つ選びなさい。 

① 水分恒数は、作物の生育と土壌水分状態の関係から、大きな節目となる土壌水分の変化点を示し、土壌水分量(%)で表される。

② 多くの畑作物は、水分恒数が最大貯水量の時に最も健全な生育を示す。

③ 易効性有効水の領域にある土壌水分は、水分恒数が圃場貯水量と生長障害点水分の範囲内にある。

④ 土壌水分が減少し始め、作物がしおれ始める点を初期しおれ点といい、pF4.2に相当する。

問3. 土壌物理性改善に関する記述の中で、正しいものはどれか。次の中から一つ選びなさい。 

※択一問題形式はマスター、アドバイザーの方が対象です。